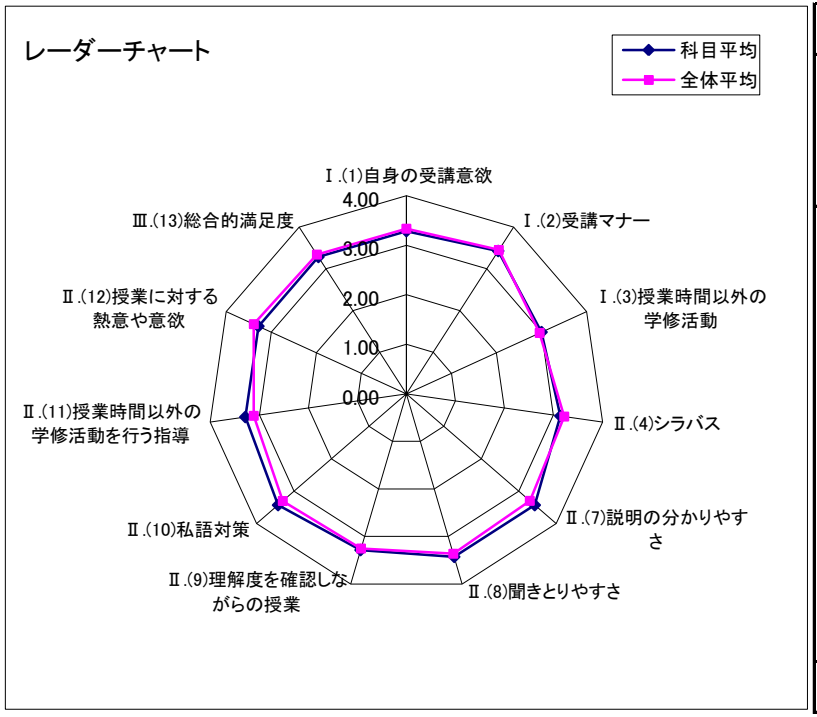
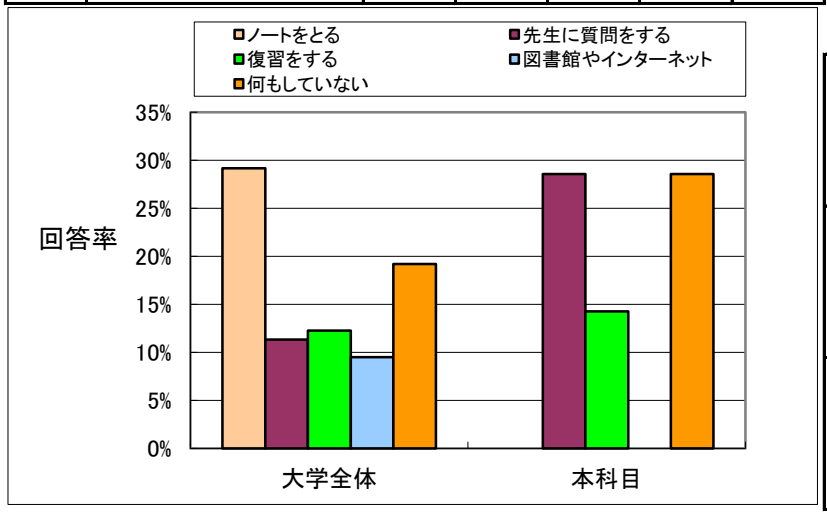
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.29	3.33
	Ⅰ.(2)	3.43	3.45
	Ⅰ.(3)	3.00	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.14	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.43	3.30
	Ⅱ.(8)	3.43	3.36
	Ⅱ.(9)	3.29	3.25
	Ⅱ.(10)	3.43	3.30
	Ⅱ.(11)	3.29	3.11
	Ⅱ.(12)	3.29	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	3.29	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.24	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.33	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	3.29	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	4130
科目名	基礎数学Ⅰ
教員名	

①授業計画の達成度について

授業計画(シラバス)、教科書にそって講義を進めた。難易度に関しては、再履修者クラスと言う事もあり、難易度のアンケート結果では、「平均的な難易度」ととなっている。根本的な難易度の高さが存在していると推定され、対応策も極めて難しいと推定される。今後の方針を検討する必要があると思われる。

②授業の進め方について

該当する項目は、全体平均とほぼ同等あるいはそれ以上の値となっており、その結果は、総合評価にもほぼ同様の数値として現れている。しかし、上記の様に根本的な難易度の高さや講義範囲の広さもあり、個々の問題に対する解説等の配分時間等のバランスの取り方が極めて難しく、今後検討を要すると考えている。進め方や満足度に関しては、基本的な項目をおさえ、今後もできるだけ維持できるようにしたい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

上記の要に、ほぼ全ての項目で全全体平均とほぼ同等あるいはそれ以上の数値となっており、総合評価にもほぼ同様の数値として現れている。今後もできるだけ現状を維持するようにしたい。しかし、上記の様に根本的な難易度の高さや講義範囲の広さが存在しており、現状の講義内容においてポイントを絞り解説する等の対応策を行う予定であるが、抜本的な対応は極めて難しく、基礎学力からの根本的な向上策や今後の方針に関して、検討を要すると考えている。

奈良産業大学